

愛難連第 47 回大会のご報告

大会へのご参加・ご協力ありがとうございました。

11月4日(文化の日振替休日)に、ウイंकあいち小ホール2で愛難連第47回定期大会・記念シンポジウムを開催いたしました。

愛知県医師会・愛知県・名古屋市をはじめ、国会・県会・名古屋市議員の先生方など来賓21名を含め、160名を超える方に参加いただき、満席近い盛会となりました。

受付票からの集計では、愛難連内外の17を超える疾病の患者・家族から多数の参加がありました。愛難連大会をみんなの参加で成功させられたことは嬉しいことです。

「この講演会を何で知りましたか」の質問には、「役所や病院・保健所で、チラシで」という方が多くみえました。病院の先生方、相談室の方、保健所職員の方などに「お知らせ」のご協力いただいた賜物とお礼申し上げます。

安倍首相が、「難病患者・障害者の就労機会の拡大(要旨)」と繰り返し発言されている中で、シンポジウムテーマが「難病患者の就労を考える」ということで、患者・家族だけでなく行政や保健センター職員の方など専門職の参加も目立ちました。

講義をお願いした先生方のお話は、私どものお願いも組み入れていただき、よく準備された、わかりやすいものでした。講師の皆さんにお礼申し上げます。

「一人で悩まず、相談できる環境はある」「行政も敷居は高くない」「退職する前に相談を」などは参加者にご理解いただけたのではないかと思います。

患者会・家族の交流と、市民向けの難病啓発という2つの面で大会は成功しました。

大会記念シンポジウム「難病患者の就労について考える」の講演テーマ・講師は以下のようでした。

「難病患者の就労支援制度」

愛知労働局 職業対策課 地方障害者雇用担当官 小林 真人さん

「難病患者の治療と仕事の両立支援」

愛知産業保健総合支援センター 両立支援促進員
(一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネットーブリッジ代表理事)
服部 文さん

「難病患者の就労移行支援」

株式会社 LITALICO 就労移行支援事務所 早川 博子さん

「難病患者と障害年金」

あおぞら年金相談室 社会保険労務士 野口 卓司さん

愛難連は、機関紙・ホームページなどで難病に関する情報を発信しています。行政や専門職の方のお力もお借りして、情報を求めていらっしゃる方にお届けできるよう努力していきます。

これからもよろしくお願ひします。

2019年11月4日 愛知県難病団体連合会